

2019年度福祉施設助成事業応募要項

一般財団法人 荒川磯慈善会
理事長 荒川勝頼

助成の趣旨

荒川磯慈善会は、荒川いそ及び荒川錬三の資産の寄付により、昭和13年3月に愛知県の認可を受け、財団法人として設立され、その後、愛知県の認可を受け、財団法人から一般財団法人に移行しました。

平成24年度から、福祉施設助成事業を開始し、8年目の本年度も継続して同様の事業を実施致します。

本財団の目的である福祉施設を運営され、福祉の向上に努力されている方々からのご応募をお待ちしております。

1 助成事業および金額

(1) 下記施設が実施する事業への助成

- ① 乳幼児保育施設など児童福祉施設
- ② 高齢者介護施設など老人福祉施設
- ③ その他の社会福祉施設

(2) 対象となる事業または費用(1施設においては、①又は②のどちらか一方です)

- ① AEDを導入・更新・増設する事業
- ② その他、下記事業を実施するための必要な機器・機材・備品・教材等を整備する費用
 - ・施設利用者の利便性・安全性を向上する事業
 - ・施設利用者の自立・自助の意欲を引出し、鼓舞するための設備充実事業

(3) 対象外となる事業または費用

- ① 経常的に発生する人件費・謝礼・保守費用・消耗品等の運営費
- ② 助成決定以前に、着手または実施する事業
- ③ 申込事業について補助金等の公的援助や他団体の助成を受ける場合 など

(4) 助成内容

- ① AEDについては、1施設1台、収納ケース等および8年間保証パック付(合計15台を予定)
- ② その他助成事業については、1施設当たり20万円から50万円(合計500万円を予定)

2 助成対象

愛知県内に本部を置く非営利法人が運営する、愛知県内の施設

1(1)に該当し、かつその施設の運営実績を1年以上する施設。

但し、個人が運営する施設、法人格の無い団体、株式会社等営利法人等の経営する施設は対象外

3 選考基準

選定される助成対象は、次の条件を満たすものとします。(申請書・付属資料の不備は審査対象外)

- (1) 応募要項に適合し、かつ緊急性及び必要性が高いと判断されるもの
- (2) 明確な目的・内容・資金使途等具体的な計画に基づく単一の事業で、目的達成に有効と判断されるもの
- (3) 申込者が組織・経理面から見て、本財団の目的に沿った実効を具現しうると判断されるもの

(4)同一年度内での)同一法人からの申請は、1施設以内

(5)上記4条件を充足し、かつ、5年以内に、当財団から助成を受けた実績の無い施設
過去の助成実績については、当財団ホームページをご参照ください。

4 応募申込書・応募用紙の請求

当財団のホームページ(<http://arakawaiso-zaidan.jp>)からもダウンロードできます。

5 応募の申込

上記「4」の所定の申込書に必要事項を記入し、添付書類を添え、郵送にて応募下さい。
なお、法人代表者の押印を必須とします。

6 募集期間

2019年4月1日から2019年7月31日(当財団事務局へ必着)まで
なお、FAXによる送信、及び締切日を過ぎての到着は審査の対象外

7 助成の決定と通知

(1)本財団の選考委員会が選考基準に基づいて選考を行います。

(2)採否の結果は、2019年10月初旬までに申込者宛て、文書によりご通知致します。

8 AED又は助成金の贈呈

AEDは当財団指定の業者により納入し、その他事業への助成金は、所定の「事業実施計画書」その他特に必要とされる書類が提出されたときに贈呈いたします。(贈呈は2019年10月中旬以降順次実行)
また、助成金に代え、現物を支給した方が効率的と判断した場合は、現物支給に変更する場合があります。

9 報告の義務

その他助成事業については、助成実施後2か月以内に、所定の「実施報告書」と「収支報告書」を、必ず提出していただきます。

2か月経過するも、事業完了の見込みが無い場合は、当財団にその理由を説明し、承認を求めて下さい。
無断で、所定期限内に、実施報告書等が提出されない場合、申請事業が不要又は実施不能となったものと見做し、交付資金の返却を求めることとなりますので、ご注意願います。

10 個人情報と情報公開について

(1)申込書などにご記入いただいた個人情報は、選定手続きに際し、選定委員等へ提供するほか、選定結果の連絡に利用いたします。

(2)ご記入いただいた情報は、このたびの助成のみに使用し、他の目的には使用いたしません。

(3)助成先として採用された法人又は団体につきましては、2019年度助成先情報として当財団のホームページにて公開することをご了承ください。

11 留意事項

(1)採否の理由等、選考に関するお問い合わせには応じられません。

(2)提出された「申込書等」の書類は返却いたしません。

(3)営利を目的とする事業、すでに完了している事業は対象といたしません。

(4)本財団以外の財団等から、同一事業で助成が決定した場合、必ずご報告ください。

また、助成決定後、実施困難になった場合及び大幅な内容変更が生じた場合には、必ずご報告ください。
これらの場合、本財団からの助成を辞退または一部返納していただく場合があります。

(5)選定上必要な場合は、追加資料等の提出をお願いすることがあります。

12 応募申込書の提出先

480-1114 長久手市長配2-229 TEL/FAX 0561-65-5082 一般財団法人 荒川磯慈善会事務局

一般財団法人 荒川磯慈善会
2019年度 事業助成申込書 (AED以外の事業への助成)

年 月 日 申込

施設名	ふりがな				TEL			
					FAX			
所在地	〒 -				開所年月			
法人名(またはグループ名)	ふりがな				TEL			
					FAX			
法人(または本部)住所	〒 -				設立年月			
代表者役職・氏名	(印)			申込施設 職員数	人	申込施設 利用者数	人	
施設の主な内容								
前年度年間予算額・ 公的補助金額	法人等全体 予算総額	百万円	法人等全体 公的補助金額	百万円	申込施設 予算総額	百万円	申込施設 公的補助金額	百万円
助成申込案件事業名								
助成申込案件の概 要および申込理由								

(注)裏面にもご記入願います

助成申請額	万円	助成金による事業の始期 及び完了予定日	年 月 日より 年 月 日完了	
助成金による事業の 収支予算概要	収 入		支 出	
	【収入項目内訳】		【支出項目内訳】	
	助成申請額	円		円
	自己資金額	円		円
	I.収入には自己資金 額を明記			円
	2.収入合計と支出合計 の一致を確認			円
	3.助成申請額は上段 の 助成申請額との 一致を確認			円
	合 計	円	合 計	円
今年度の他助成団体 に対する申請の有無	有	無	他助成団体名	
			助成申請案件事業名	
添付書類(○を付 け、太字は必添)	定款又は運営規則等	本年度事業計画	本年度予算書	前年度決算書
	登記簿謄本写(3ヵ月内)	施設案内書など資料		その他()
	購入物の見積書	購入物のカタログ	図面(修繕等の場合)	
連絡責任者 所属・氏名			電話(携帯)	
			日中連絡先 FAX	
			Eメール	
当助成制度を知った方 法(○を付けてください)	当財団ホームページ	社会福祉協議会	新聞()	その他 ()
その他(上記で書き きれないことがあれ ばご記入下さい)				

(注) 1 黒色のボールペンまたはパソコン等ではっきり記入願います。

2 機器・機材・備品の購入や印刷等を業者に発注する場合は、見積書と購入物のパンフレットを添付して下さい

3 授受を明確にするため、極力、郵便(特定記録)にて送付願います。

一般財団法人 荒川磯慈善会

2019年度 AED助成申込書

年 月 日 申込

施設名	ふりがな				TEL				
					FAX				
所在地	〒 -				開所年月				
法人名(またはグループ名)	ふりがな				TEL				
					FAX				
法人(または本部)住所	〒 -				設立年月				
代表者役職・氏名	Ⓜ				申込施設職員数	人	申込施設利用者数	人	
施設の主な内容									
前年度年間予算額・ 公的補助金額	法人等全体 予算総額	百万円	法人等全体 公的補助金額	百万円	申込施設 予算総額	百万円	申込施設 公的補助金額	百万円	
AED導入形態 (○表示)	新規導入	更新	増設	使用対象 (○表示)	幼児	高齢者	一般	設置スタート	必要 不要
AED設置連絡責任者	氏名			所属			電話番号		
AEDを必要とする理由	理由欄								
当助成を知った方法(○ 印)	当財団ホームページ	社会福祉協議会	新聞()	その他()					
添付書類(太字必添)	定款又は運営規則等	登記簿謄本写(3ヵ月内)	施設案内書等	その他()					
	本年度事業計画	本年度予算書	前年度決算書						

(注) 1 黒色のボールペンまたはパソコン等ではっきり記入願います。

2 授受を明確にするため、極力、郵便(特定記録)にて送付願います。